



指導員訪問① 4年 外国語活動「Unit2 Let's play card」 山際 恵莉 教諭



向き合って会話をする機会が増え、外国語活動により親しむ姿が見られるようになりました。コロナ禍を過ごした4年生にとって入学以来のこと。山際教諭は、積極的に発言したり行動したりする姿を認めながら、友達と伝え合う力をさらに伸ばしたいと考え単元を設定しました。

そこで、単元終末である本時では、遊びや天気などの言い方に慣れ親しみ、言ってみたい、聞いてみたいという思いをより高めて、天気に応じた好きな遊びを訪ねたり答え



たりする姿があったかどうかです。

まず、フラッシュカードを使って、weather と play のそれぞれの言い方の復習から。次に音声を3回聞き、国名と天気の聞き取り。S T(T 2)の正確な発音も聞きます。そしてActivityへ。晴れの日、雨の日にしたい play を各自プリントに記入。

T 1とT 2でデモンストレーションを披露。ここで、反応例として wow、nice、good、really、wonderful、I see、really、me too、sounds good の発音練習をしました。また、同じ play ならハイタッチを伝えました。



まず、「晴れの日」の場合から開始。途中で左のT 1

●ように児童を指名して全体で取り上げ、立ち止まりました。その後に「雨の日」でペア会話をしましたが、勢いが増したことから、教師の支援が有効であったと感じました。



協議会では、話したい

意欲を高めるために「練習の確保」「言いたい play の追加」「ストーリー性を」など意見が。指導員から、「安心のためのチーム学習」「3回聞かせて自然にアプトプットへ」「音声とカードのリンクを」など、英語がいかに関心を伝える道具となるか教えていただきました。

振り返りの場面で、「雨の日に『かくれんぼ』ってどうやったのか、もっと知りたくなった。」とつぶやく子。これぞ「really」ですね。私なら取り上げ、「みんなならどう？」と揺さぶります。相手の発言に反応しながら、もっと聞きたい、話したいとスイッチが入る瞬間です。思いをさらに膨らませる子供たちが増えるでしょうね。

<授業記録より一部抜粋、編集>

- T 1 ●：じゃあ前でやってもらおうかな。
※ 2ペアを指名・・・後半のペア
- C 2 ㊦：Hallo.
- C 3 ㊩：Hallo.
- C 4 ㊦と㊩：(じゃんけんで順番決め)
- C 5 ㊦：What do you want to play?
- C 6 ㊩：I want to play tag.
- C 7 ㊦：wow.
- C 8 ㊩：How about you?
- C 9 ㊦：I want to play tag.
- C 10 ㊩：me too.
- C 11 ㊦：Yes, Let's!
- C 12 ㊦と㊩：(互いにタッチ)
- C 13：(お～！) (拍手)
- T 14：鬼ごっこ人気だったね。今やってくれた人たち、リアクションやりましたね。さっき、自分でやった時にできたよって人いますか？
- C 15：(う～ん) (挙手数名)
- T 16：手が挙がらなかった人、次、It's rainy day やるので言ってみてくだ